

日本労働年鑑 第52集 1982年版  
The Labour Year Book of Japan 1982

第二部 労働運動

VIII 社会保障闘争

概要

一、八〇年後半から八一年前半にかけて、社会保障・福祉の見直しがすすめられたが、これに対応して福祉切り捨て、社会保障後退反対闘争がとりこまれた。

一、医療保障の分野では、八〇年前年にひきつづいて、健康保険制度の抜本的改革を内容とする法案審議にあわせて健康保険法改悪阻止・医療制度の改善をめざす闘争がすすめられた。老人福祉法による老人医療費無料化制度を廃止し、一部負担を導入した老人保健医療制度創設をめざす厚生省の動きに対応して、老人医療費有料化反対闘争がとりこまれ、総評、同盟は、高齢者保健医療制度案をそれぞれ発表した。

一、老齢保障の分野では、給付改善とひきかえに大幅な保険料引き上げをふくむ厚生年金保険法改正案の審議にあわせ、保険料率引き上げ幅の緩和要求を軸とする運動と年金制度改善闘争がすすめられた。総評、同盟、中立労連は、厚生年金保険制度改革構想をそれぞれ発表した。老地連は、八二年に国連が開催する「老人世界会議」へむけ「高齢者の権利宣言草案」を発表した。

一、福祉の分野では、「ベビーホテル」対策要求運動がとりこまれ、また各障害者団体などは、「国際障害者年」へのとりこみをすすめている。

一、児童扶養手当と障害福祉年金の併給制限の違法性を争い最高裁に係属中の堀木訴訟を支援する闘争が、堀木訴訟中央対策協議会を中心としてすすめられた。

日本労働年鑑 第52集 1982年版

発行 1981年11月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月18日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1982年版(第52集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)